

# 人はなぜラブレターを書くのか (2026)

メディア 映画  
ジャンル ドラマ  
製作国 日本  
色彩 Color  
時間 122分  
初公開日 2026/04/17  
公開情報 東宝  
映倫 G

## 【キャッチコピー】

全ては“愛の実話”から始まった――  
24年の時を超え、  
一通の手紙が奇跡を起こす。

## 【解説】

2000年3月8日に発生した地下鉄線脱線事故で亡くなった高校生・富久信介さんの家族のもとに2020年、一通のメッセージが届く。それは、ほぼ毎朝、信介さんと同じ車両で通学し、彼に秘かな想いを寄せていたという女性からのものだった。そこには、家族の知りえなかった信介さんの姿が綴られていた。本作はこの実話を基に、一通の手紙をきっかけに失われた時間と人々の思いが24年の時を経て再び動き出す奇跡の物語を、「舟を編む」「月」の石井裕也監督が映画化したヒューマン・ストーリー。主演は綾瀬はるか、共演に当真あみ、細田佳央太、妻夫木聡、音尾琢真、菅田将暉、原日出子、佐藤浩市。

古民家ダイニングを営む寺田ナズナはあることがきっかけで、高校時代に秘かな想いを寄せていた青年に手紙を書き始める。24年前、17歳のナズナは、毎朝同じ電車で見かける高校生の富久信介のことが気になっていた。一方、信介はボクシングに夢中で、放課後は名門の大橋ボクシングジムに通いトレーニングに励み、青春を謳歌していた――。2024年、ナズナからの手紙を受け取った信介の父・隆治は、手紙から彼が知ることのなかった亡き息子の在りし日の姿が浮かび上がり、信介が生きた証を実感する。そして、隆治はナズナに宛てた手紙を綴り始める。

## 【クレジット】

監督	石井裕也
企画・プロデューサー	北島直明
製作	桑原勇蔵
	菅井敦
	市川南
	柿本幸一
	植田泰生
	高橋紀行
	菊地美世志
	芦田拓真
エグゼクティブプロデューサー	飯沼伸之
プロデューサー	菊地美世志
	宮崎慎也
脚本	石井裕也
撮影	鎌苅洋一

美術	渡辺大智	
衣裳	立花文乃	
編集	石井裕也	
	早野亮	
音響効果	大塚智子	
音楽	岩代太郎	
主題歌	Official髭男dism	『エルダーフラワー』
製作統括	江成真二	
照明	永田ひでのり	
録音	小松将人	
装飾	林杏奈	
	大和昌樹	
ヘアメイク	豊川京子	
	栗原里美	(綾瀬はるか)
VFXプロデューサー	赤羽智史	
ボクシング指導	松浦慎一郎	
助監督	成瀬朋一	
出演	綾瀬はるか	寺田ナズナ
	当真あみ	小野ナズナ (学生時代)
	細田佳央太	富久信介
	妻夫木聡	寺田良一
	音尾琢真	大橋秀行
	富田望生	
	西川愛莉	寺田舞
	渡辺光	
	菅田将暉	川嶋勝重
	笠原秀幸	
	津田寛治	
	原日出子	富久晴子
	佐藤浩市	富久隆治